

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	239300180
事業所名	グループホーム ジョイフル布袋

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 自治会に加入している。民生委員、区長とは、推進会議時を主に地域情報の収集やイベントの誘いがあり、相互の交流を深めている。今年度は自粛していた地域の祭りが再開し、神輿のルートを施設前に調整してもらい、利用者の喜びや地域住民との交流を図る事ができた。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 推進会議は年6回実施し、区長、民生委員、市担当者、包括担当者、家族を構成員として運用されている。事業報告、事故報告、地域情報の収集を行い、意見交換の場として活用され、意見や要望は議事録にて職員へ周知し、サービス改善に反映する仕組みがある。避難訓練や離接に対する意見や要望があり、ホームの対応の困難さを周知され、地域間の連携体制を深める事ができた。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市高齢生きがい課とは推進会議を通じて顔馴染みの関係を深め、何かあれば電話で相談して、問題解決、運営向上に繋げ、良好な関係性を継続している。市町村主催の研修の案内がメールで届き、職員に対し必要に応じた研修には参加する様に努めている。日本認知症グループホーム大会に参加し、ホームの取り組みを発表する機会があり、認知症専門施設としての役割を果たし、貢献された。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 毎月「ほてい通信」を発行し、日常生活の様子を伝え、家族の安心に繋げている。何かあれば電話や面会時に意見くように努めているほか、家族向けアンケートを実施している。意見や要望は職員間で検討し、サービスに反映する様に努めている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	○
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価			○	○	○	○	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎	○							